

▼バイミカード錠 [内] <販売中止 2020.3>

【重要度】 【一般製剤名】 ニソルジピン (U) nisoldipine 【分類】 Ca拮抗薬

【単位】 ▼5mg・▼10mg/錠

【常用量】 ■高血圧：5～10mg/日 ■狭心症：10mg/日

【用法】 1日1回

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1,3)

【保存期 CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (3,12)

【特徴】 冠血管選択性が強く、少量投与では血圧を下げすぎることなく冠血管拡張作用を現す。作用時間が長く1日1回投与。

【主な副作用・毒性】 血液凝固障害、顔面紅潮、頻脈、動悸、浮腫、めまい、肝障害、パーキンソン様症状、便秘、胃腸障害、頻尿、女性化乳房、発疹、掻痒感など

【吸収】 ほぼ100% (11)

【F】 初回通過効果を受け8% (10) 3.9% (1) 3.4～10% (11) 5% (U) 8.4±1.0% (1)

【tmax】 1.3～1.5hr (11)

【代謝】 肝でCYP3A4により代謝 (1)

【排泄】 尿中回収率90%以上 (11) 尿中未変化体排泄率10%未満 (12) 0.1%以下 (11) 主に代謝物として尿中に60～80%回収 (U)

【CL】 833mL/min (10) 1000mL/min (11) 【非腎CL/総CL】 100% (10)

【t1/2】 2.05hr (1) 3相性 [α相10min, β相2hr, γ相12hr] で平均2～4hr (11) 11.3hr (10) 6.6～7.9hr (12) 【透析患者のt1/2】 約2.05hr (正常とほぼ同じ) 6.8～9.7hr (12)

【蛋白結合率】 99% (U,10,12) 99.7% (11) 92～98% (1)

【Vd】 3.5L/kg (10) 4～6L/kg (11) 2.3～7.1L/kg (12) 1.6～7.1L/kg (1)

【MW】 388.42

【透析性】 蛋白結合率が高く透析で除去されにくい (U) 除去されない (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にならない

【O/W係数】 10874 (1-オクタノール水系) (1)

【相互作用】 イトラコナゾール、ミコナゾールと併用禁忌 (1) グレープフルーツジュースに含まれる成分がCYP3A4を阻害し、初回通過効果を減弱させるため降圧効果を増強 [Fが低いためCa拮抗剤の中で最も相互作用が強く起こると考えられる] (1)

【更新日】 20190424

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。